ショウキョウ

基原の項を次のように改める.

本品はショウガ *Zingiber officinale* Roscoe (*Zingiberaceae*)の根茎で，ときには周皮を除いたものである.

生薬の性状の項を次のように改める.

生薬の性状　本品は偏圧した不規則な塊状でしばしば分枝する．分枝した各部はやや湾曲した卵形又は長卵形を呈し，長さ 2～4cm，径 1～2cm である．外面は灰白色～淡灰褐色で，しばしば白粉を付けている．折面はやや繊維性，粉性で，淡黄褐色を呈する．横切面をルーペ視するとき，皮層と中心柱は明瞭に区分され，その全面に維管束及び分泌物が暗褐色の細点として散在する.

本品は特異なにおいがあり，味は極めて辛い.

本品の横切片を鏡検〈*5.01*〉するとき，外側よりコルク層，皮層，内皮，中心柱が認められるが，コルク層はしばしば脱落している．皮層と中心柱は 1 層の内皮によって区分される．皮層及び中心柱は柔組織からなり，繊維で囲まれた維管束が散在する．柔組織中には黄色の油様物質を含む油細胞が散在し，柔細胞中にはシュウ酸カルシウムの単晶が含まれる．柔細胞中のでんぷん粒は主に単粒で，卵形，三角状卵形，楕円体又は球形で，へそは偏在し，長径は通例 10～30μm である.